



性玩具で
連続絶頂!!

二人の乙女が欲望の餌食になる!!

純潔を散らされ...

見知らぬ男たちにイッ!!

孕ませツクス

モンスター級の

慰み者に...

彼女たちが
絶頂地獄に
堕ちた話。

「まんこの中出し」
「しなごいんたれこ」
「チンポが大好きな淫乱女」
「お願ひされたら
止めてやるよ」

「そ、そんな
卑劣な...」

「コイコイ
コイコイ
コイコイ」

「連続中出し
処女を失
絶頂まで」

「おっおっおっ」

えっと…
この辺りまで来れば
大丈夫よね…

も、もう
我慢出来ないから…
よし！
ここでしちゃおツ！

オツ

ビアンカは我慢していた
尿意を解消するため
パーティーがいる街道から離れて
森の奥まで入って来た。

はあ〜…

やだ!

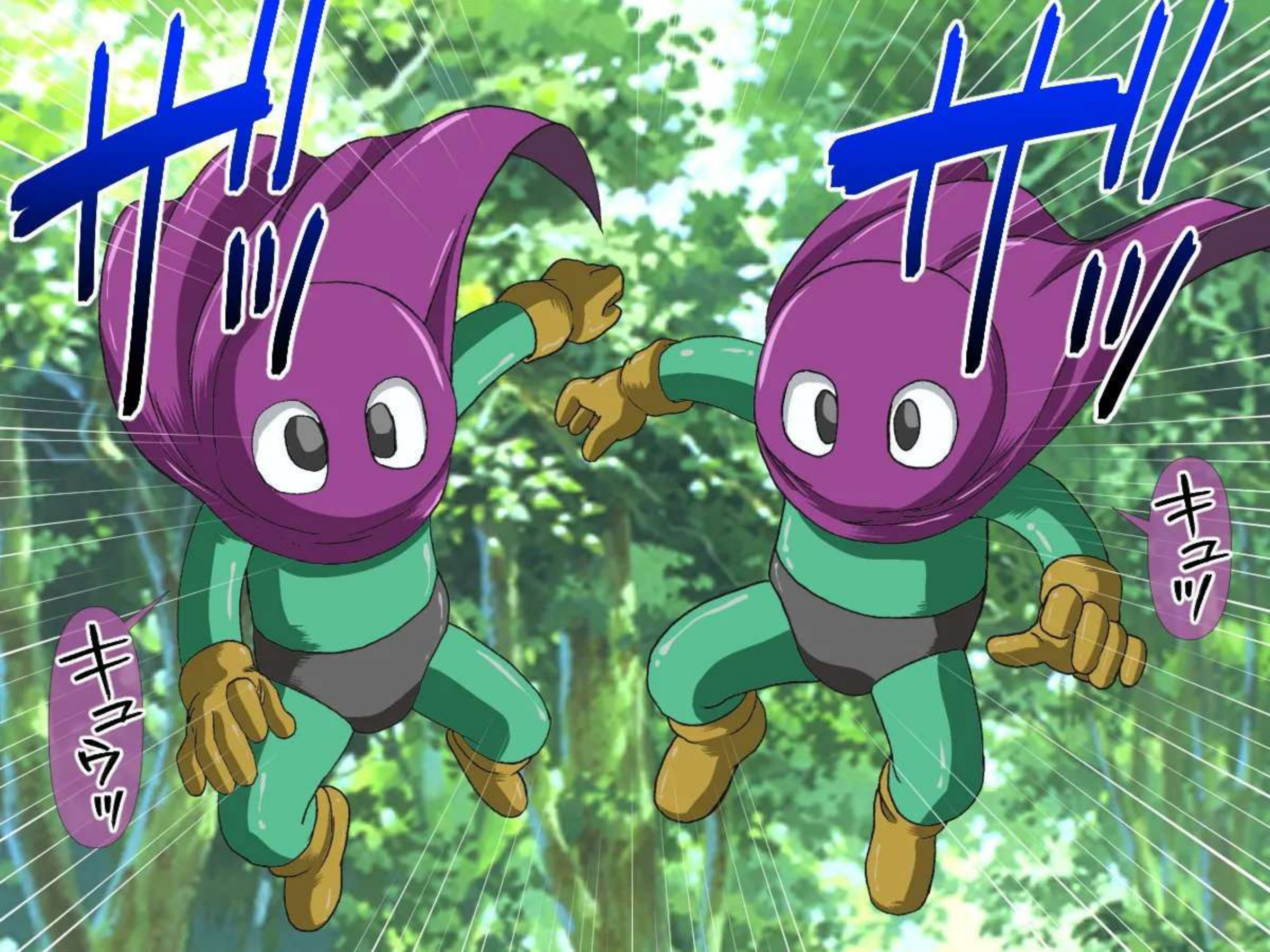
ずっと我慢してたから
おしっこいっぱい
出ちゃってる

ん…っ

ニャアアア…

この森はモンスターが
多いつて有名だけど
少し奥まで来て正解だったわ。

こんなに出ちゃってるのが
皆に知られたら恥かしいもの



サササ

サササ

モンスターには
違くないけど…

ずいぶん可愛いのが
出て来たわね

キタマ〜

敵意は感じないわね
可愛いんだけど…

一応モンスターだし
どうしたものかしら…

キタマ〜

ニャーニャー

ニャーニャー

ニャーニャー



きやッー！
なつっっこいわね！

キムム〜

キムム〜

おん
おん
やッ

…え？
ちよっつと？！

キムム〜

キムム〜

キムム〜

ちよつと！
な、なにをするの！！

お、おっぱい
吸われてる?!

おっ

ええッ

露出した胸をしやぶり出す子ザイルたち。
ピアノ力は突然の行動に
呆然として固まってしまう。



赤ちゃんってこんな
やらしい吸い方するの?!
乳首がムズムズする!!

あんツ

ダメツ!

離れてツ!!

ちゃらちゃら
ちゃらちゃら

子ザイルを離さないとおんがヒクともしなさい。
どいんかその間おしローリンのおんを
しやうり続けよう。

これ以上おっぱい
吸わないでえッ!!

さすがに
これ以上はマズいッ!

子ザイルたちが母乳を出さないと一生懸命
乳首を吸う行為は快感を生んでしまっつ。
慌てたピアノ力は必死で抵抗する。

しゃしゃしゃしゃしゃ
しゃしゃしゃしゃしゃ
しゃしゃしゃしゃしゃ
しゃしゃしゃしゃしゃ

母乳を拒否されて子ザイルたちが盛大に泣き出す。
二匹の泣き声は静かな森に大きく響き渡った。

きゅん!!

きゅん

きゅん

きゅん

きゅん

ダメダメツ!

そんなに泣いたって

おっぱいはダメなのツ!

母乳なんて

出ないんだから!

それに吸い方が

やらしいし!!

オオオオオオ
オオオオオオ

ピアンカの説得が通じない二匹は
取り上げられたおっぱいを求めて
更に大きく泣き叫んでしまっし。

ちよ、ちよつと！

私が苛めた

みたいじゃない！

私はモンスターだからって

弱いもの苛めはしない

主義なんだから！

モンスター

モンスター

モンスター

音のする方を見れば、そこには筋骨隆々の
エリミネーターがビアンカを睨みつけていた。



エリミネーター!!

な、なんでこの森に
こんな高レベルの
モンスターがいるのツ?!

ど、どつしよつ…
足が…!!

今のリアンカのレベルでは
戦える相手ではないモンスターの出現に
足がすくんで動けない。

えの？えの？
ち、ちがッ！

私虐めて
ないからッ！

ねッ？
泣かないで！
お願いだからッ！！

キキキキキキ

キキキキキキ

エリミネーターから強い怒気を感じ
誤解されていると判断したピアンカは
慌てて子ザイルを泣き止ませようとするが……



きゃあぁッ

斧が刺さってで…ッ!?
ど、どうしようッ
逃げられないッ!!

エリミネーターが投げた斧はヒアソカの服を
巻き込んで木に突き刺さった。身動きが
取れなくなつたヒアソカにエリミネーターが迫る。

ッ
ッ
ッ

……あ……

ああ……ッ?!

エリミネーターに襲撃されたと思ったが
無残な姿になったのは服だけで
無傷のビアンカは裸体を晒し拘束されていた。

な、なにが起こったの?!
私……まだ生きて……る??



ひいッ?!
な、なにッ?!

何でそんな物出すの?
何をする気ッ!

……ま、まさかッ

い、いやあッ!
近寄らないでーッ!!
離してッ!!

ピアソカの眼前にエリミネーターの
勃起した生殖器が露になる。
生まれて初めて見る雄の男根に
羞恥と恐怖でパニックになつていく。

キッ
キッ

やだッ…
無理無理!!

私まだ経験
ないんだからーッ!!

モンスターに犯される
なんて絶対イヤッ!!

初めてがこんな

モンスターなんて嫌ッ!!

誰かッ!!

誰か助けて〜ッ!!

脈打つ凶器が未通の秘部に近づいて来る。
抵抗を試みるも拘束は解けず
助けを求めるビアコカの声が森に響く。

ビアコカ

おま

あ、熱いのが当たって……ッ!!
こんなの入らないッ!!
入れられたくないッ!!
怖いよおお〜ッ!!

いや……ッ
いやッいやいや……
やめッ……!!

熱く硬い亀頭が入口にあてがわれ
肉壁が捲られて押し広げられていく感覚に
ビーン力の体はガタガタと震えか細い声が零れる。

グ
グ
グ
グ
グ

ヒヤ
ヒヤ
ヒヤ

痛みとショックで意識が朦朧としかけるが
膣への衝撃で現実へと引き戻され
更に絶望していく。

いああッ

あッあッ
あッあッ

早く…早く終わってっ!!
もおっ何でもいから
早く終わってっ!!

アッ
アッ
アッ

エリミネーターの突然の咆哮と共に男根が膨らみ次の瞬間熱い液体がピアコカの最奥に打ち付けられた。

あッ

あッ

あッ

あッ

あッ

あッ

あッ

あッ

あッあッ

や…あッ

…いや…あ…ッ

んあッ

んあ…

ああ…

や、やつと…中から
出て行つてくれた…
熱い…痛い…
気持ち…悪い…ッ

はっ

ズッ

ズッ

射精を終えた男根が膣から抜かれると
栓を外された穴から粘性の高い
白濁の液体が大量に零れてきた。

サッ

キヤアッ

いや…ああ…
まだ中から…
こぼれてる…ッ

ゴポゴポ…
いつてるう…!!

ああ…

んあ…

地面に放り出された
拍子に体内に
残っていた精液が
空気を含みながら
吐き出された。



ああ…ッ
まだなの!?

気持ち悪いよお…

早く全部
出てつてよお…ッ

初めては好きな人に…
アイツにあげるつて
決めてたのに
…よりによつて
こんなのっ…うんっ

しるるるる

片思い中の男の顔が
脳裏をかすめ
ピアノ力は自分に
起こった現実に改めて
打ちのめされた。



涙が止まらない…
泣いてる場合じゃないのに…

そう…よっ早く…
早く逃げなきゃ…

はは…体が…
動かないや…

どう、しよ…

凌辱直後の体は
思ってる以上に消耗し
力がまったく入らず
逃げる事が出来ない。





エリミネーターが再び襲ってくるのかと覚悟して仰ぎ見れば、そこに居たのは新たなモンスターだった。

肌におぼけキヤシドルの蟬が落ちる。
直に強い刺激を受けて
ピアノ力の体が大きく跳ねる。

ひいあッ
…ツツあつツツ!!
お腹に蟬がツ!!

な、なにッ!?!
じわじわと
焼き殺す気!?!

水の
ダッ

じゅわッ

ザッ





やめてえっ

ポタッ

ポタッ

しゃん

んあッ

ああッ

あッあッ

あッあッ

あッあッ

あッあッ

あッあッ



蟬が付着した場所から
じわじわと熱さと痛みが広がって
ピアノカの肌を蝕んでいった。

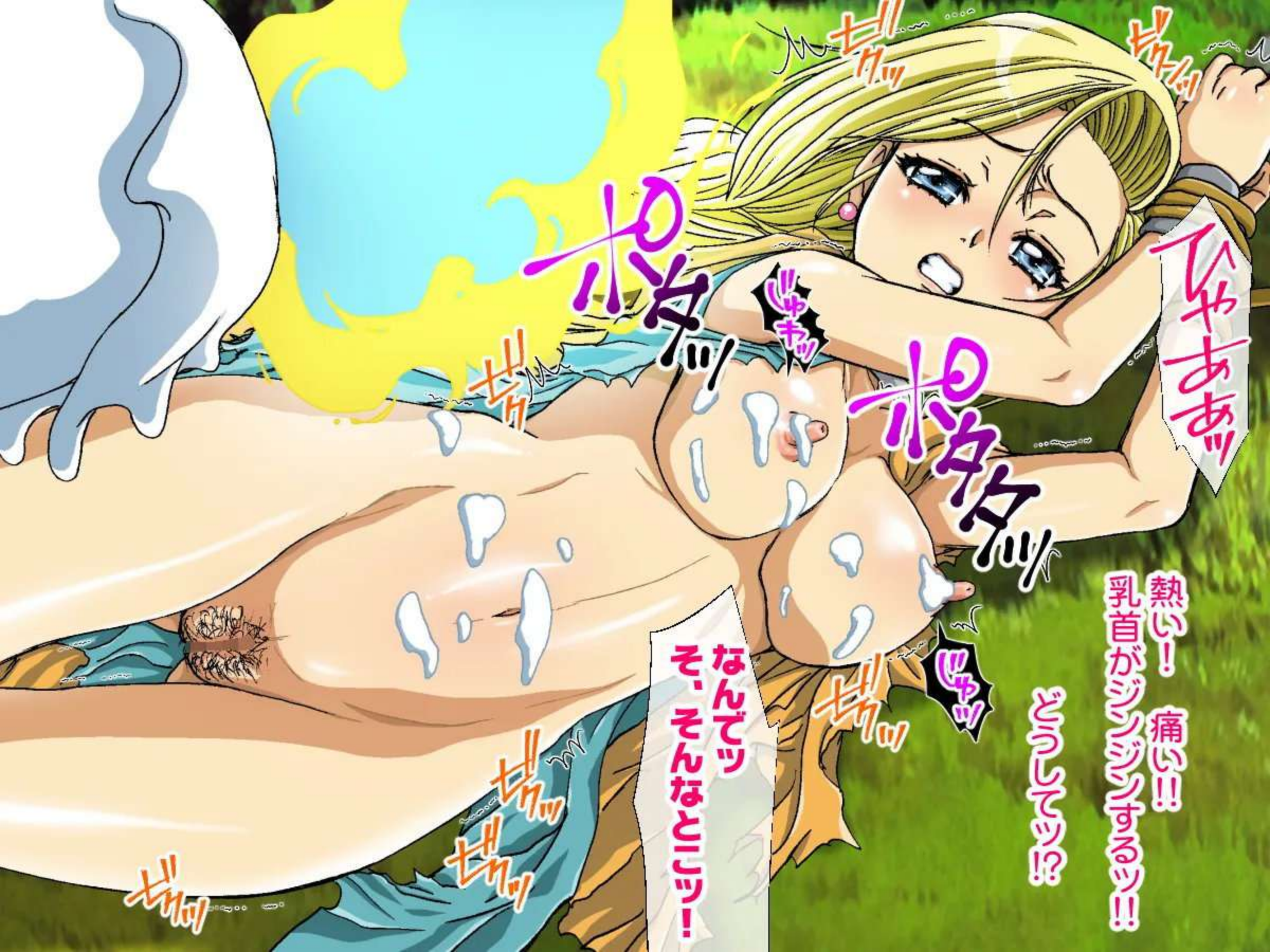
熱いッ！
蟬が落ちたところが
ジンジンするッ！！

「あッ」

「ムムッ」

「ハッ」

「ムムッ」



あーあーあー

ジュジュ

ジュジュ

なんでも
ジュジュジュ

熱い！ 痛い！！
乳首がジュジュするのジーン！！
ジュジュジュ

ジュジュ

ジュジュ

ジュジュ

ジュジュ

ジュジュ

ジュジュ

ジュジュ

乳首の次はクリトリス。
包皮の上に熱い蠟が垂れる。
弱点を狙い撃ちされても
ピアノ力は悶える事しか出来ない。

あッあッ…!!
ダメな所っばかり…
卑怯よッ!!

あッ

ゼッ
ゼッ
ゼッ

くはッ

いッ

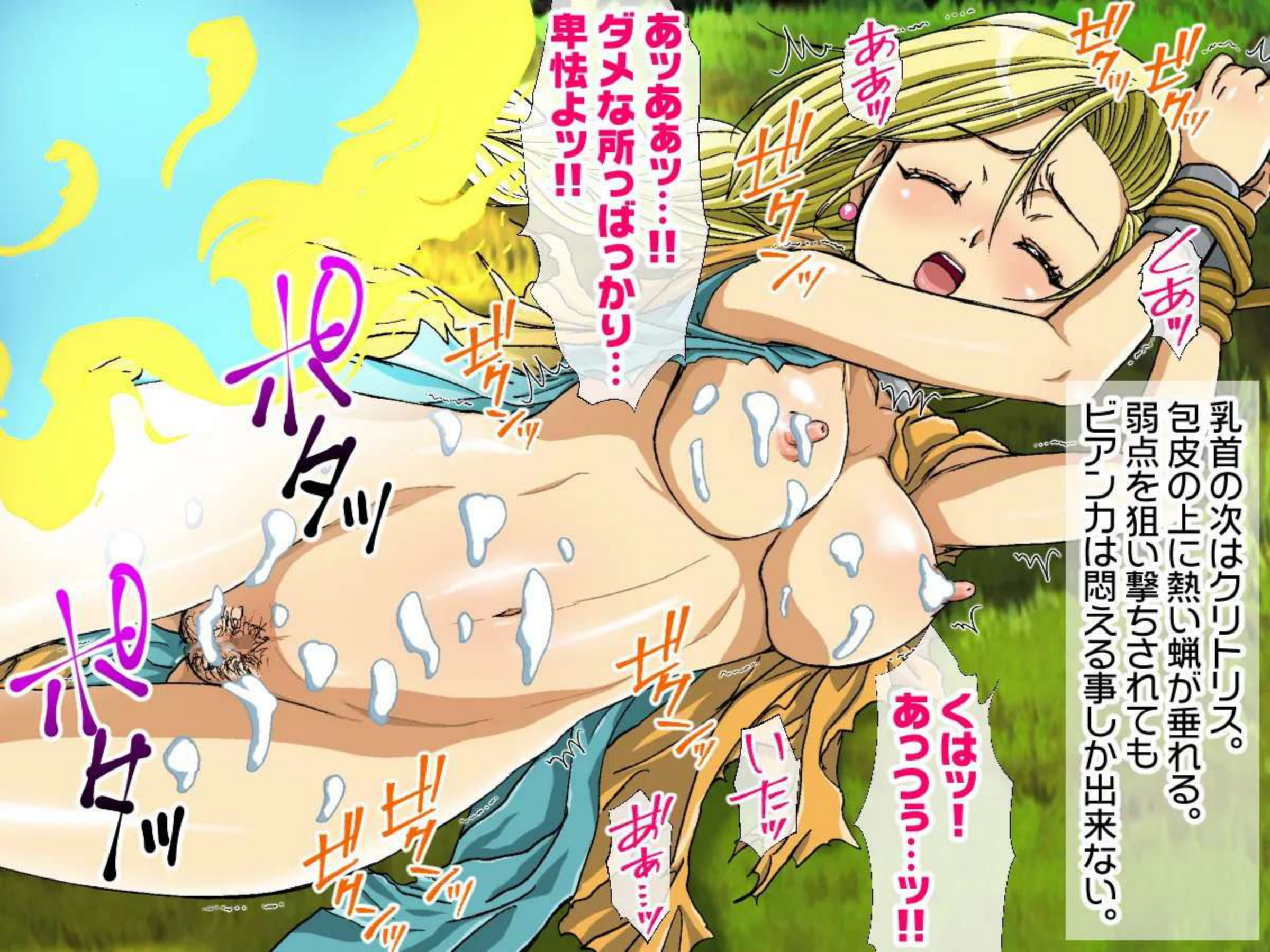
あッ

くはッ!

あっつら…ッ!!

ハッ
タッ

ハッ
タッ



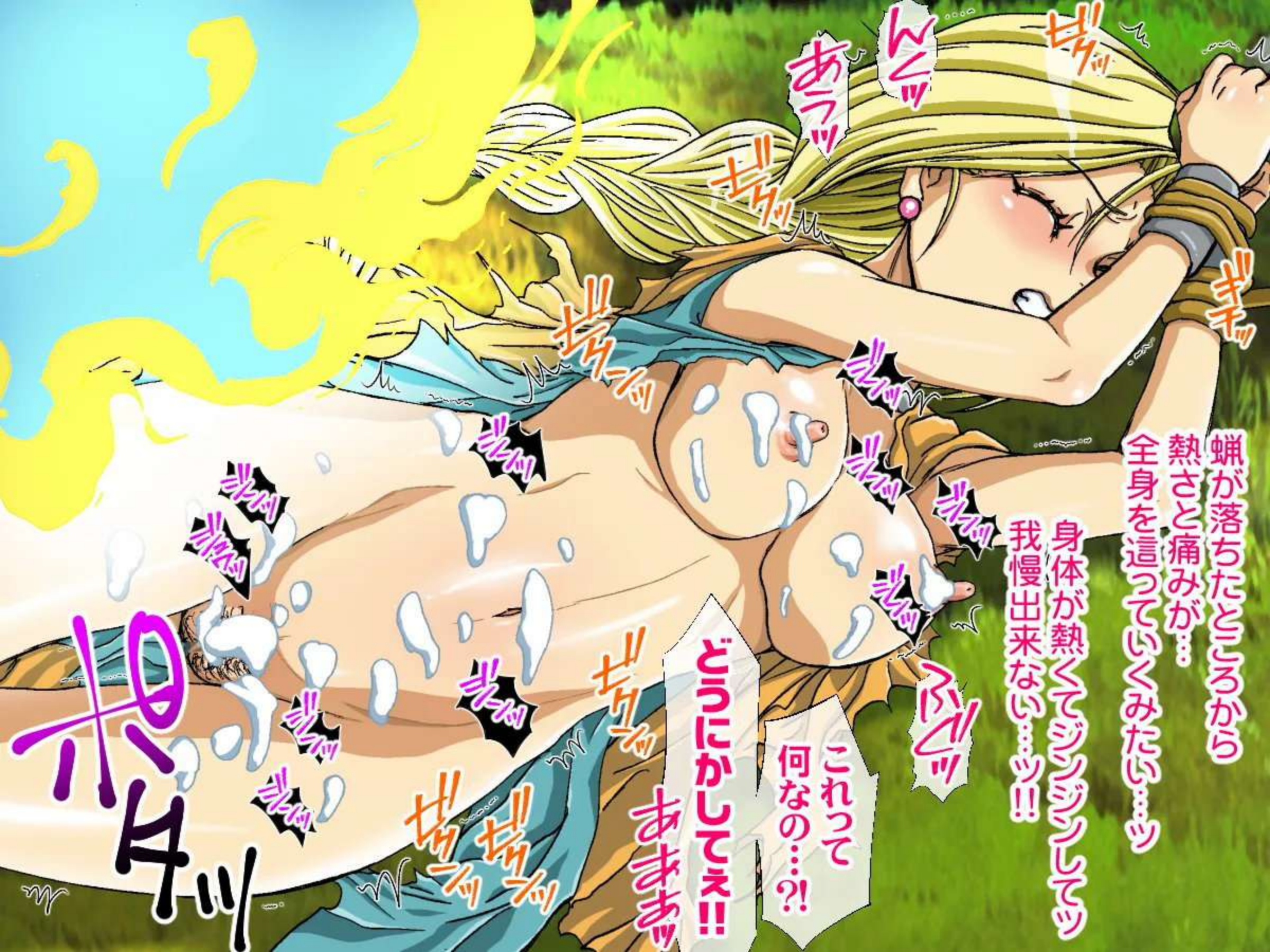
蝉が落ちたところから
熱さと痛みが…
全身を這っていくみたい…ツ

身体が熱くてジーンズンとでジ
我慢出来ない…ツ!!

これって
何なの…?!

ど…ど…ど…
あ…あ…あ…

ハハハ
ハハハ





揺らめく光と熱と痛みに
浮かされてヒヤヒヤの頭の中が
霞がかって行く...

びびり...

ああ...
この炎を見ると...

頭の中まで...
揺らいでくる...

あ...

ああ...ッ

ふり
ふり

カクッ

カクッ
カクッ

カクッ
カクッ

カクッ
カクッ

カクッ

カクッ

カクッ
カクッ

カクッ

カクッ

カクッ

カクッ

カクッ

カクッ
カクッ



まものつかいの振り下ろした鞭によつて
現実には引き戻させられ
お尻には鮮やかな赤い線が浮かび上がった。

クニヤア

ア

あうッ

クニヤア





あははは

ザッ

クニクニ

ザッ

クニクニ

ザッ

あはは

も、もう何処を
打たれてるのかわからない……
体中が熱くて……どうにかなるうっ!!

あぁッ

ひゃうッ

あぶらッ

びん

ニスト

あッ

あぁッ

ニスト

びん

びん

びん

びん

ジンジンして……もお……
体がおかしくなっちゃったのかな……
痛くない……かも……ッ

ああ……んあッ

んああッ

んあッ

ああ……ッ

ゴ
ミ
ス
ー
ッ

はあムッ

ビクッ

ビクッ

ビクッ

ビクッ

ビクッ

ビクッ

ビクッ

ビクッ

ビクッ

ビクッ

ビクッ

ビクッ





不
不
不

うっ……ああーっ!!
こっ今度は何よ!?
気持ち悪いッ!

う
う
う

ヒュー

こ、来ないで…ッ

もうッこれ以上
私に触らないでッ

やあッ

あま…

体が火照って…
自分の体じゃない
みたいで怖いッ

まものつかいに入れ替わりで
新しいモンスター・ジェネラーマンの
腕がビアンカに迫る。



ああん

熱くなってる肌を
なぞられると...

気持ち悪いのに...
違うゾワゾワがくるツ!!

粘着質の柔らかい腕がピアシカ力の
肌に張り付くと、感触を
楽しむように表面を這っていく。

あ...
んああく...

ニエ〜タ

ニエ〜タ



ツいやッ！
オッパイ揉んじや
ダメエ〜ツツ!!

揉まれると…なんだか
気持ち良くなっちゃうからツツ!!

触られてならのに
乳首がジーンジーンするジーン!!

あ〜ッ
あ〜ッ

モ〜ッ
モ〜ッ
モ〜ッ

まっすぐ胸に辿り着いて弄ぶ。
鞭打ちとは真逆のねっとりした
責めに肌が陥落する。

ム〜ッ

あぁんっ

あぁあぁんっ

オツパイいやあ…

ジエリーマこの腕が胸を揉むことに乳首が硬く勃起。ゴロゴロこじこじった乳首は刺激を求めてゴアゴア力を苦しめていく…。

ゴロメ

ゴロメ

あぁんっ

ああ…乳首触りたいツツ!!
乳首が切ないのおツツ!!



きゃあッ
いっしゅあッ

そこはダメッ!!
もうこれ以上
辱めないでッ!!

ズル

ズル

ズル

ズル

も、もう犯されるのは
絶対にイヤッ!!!

ああんッ

あッ

ズル

ズル

ズル

股間にもぬるりとした腕が密着。
エリミネーターによる破瓜の
衝撃を思い出して体が強張る。

ひあああ

擦るのダメーッ!!

そーそー弱いのツー!
そこばかりされたら
もっもおーッ

おッおッおッ
おかしくなるとツ
助けなッ

ムム

ムム

ムム

ムム

ムム

おッおッおッ

おッおッ

陰唇や陰核を擦られ過剰な快樂が
ピアンカを襲う。弱点を執拗に
蝨く責めに追い込まれていく。



おおー

おおー

えッ!? 何これッ!?
ダメダメッ!!
気持ち良すぎなッ~~~~ッ!!

んああん

ガリ

モミ

ズララ

ガメガメ

ガリ

モミ

包皮を剥かれた陰核本体が
直接刺激を受け、快楽の暴力に
目の前が白く弾けた。

ハズル

ハズル

あああああ

ああ

すごい強いッ
強すぎいくッ!!

ああああ

ああああ

モミ
モミ
モミ

ああああ

ああ

ああああ

強制絶頂後も

止まらないクリ責めによって
イキっぱなし状態に陥っていた。

同時は無理ッ!!
もつと気持ち良くなっちゃう!!

ああまた来るうッ!!
大きいのが来ちゃうッ!!

あッ
もッ無理いッ!!

やっちゃう!!
止めて止めてッ!!

多数の腕で弱点を同時責められ
ピアニカの体は面白いように
何度目かの絶頂を迎えた。



あッ...

やっと...離れた...ッ!
これ以上続いたら...!
おかしくなっても...ッ

あま...ッ

ズッ

んま...

ピアノ力を覆っていた塊が離脱。
余韻が強く残りながらも
解放されたことに安堵する。



ちよツ!!
なにツ?!

こんな格好!!

こ、今度はなに...?!
モンスターに大事な所が
丸見えに...ツ

オ

だがすぐに背後から太ももを
左右に割られて興奮しきった
裸体が曝け出された。



ニャーニャーニャー



ああ…ツ
今度は何をされるのツ!?

こ、来ないで!!
これ以上ツ
私に近寄らないでえーツ!!

勃起乳首をスモールグールの舌が舐ると強烈な快感が全身を突き抜ける。

おおまんツ

な、なにっ?!
乳首があ〜っツ!!

まんツあぁッ

ルルッ

あぁ〜

まんツ

あぁッ
んあッ



反対側の乳首にも舌が絡まり
転がされ捏ねられ擦られて
執拗に弄られていく。

ひゃらッ

うそッ?! なんでなの?!

乳首がこんなになんて
気持ちいいなんてッ!!

あッ

ああッ

コソコソ

コソコソ

コソコソ

そっちも!?
同時にされたり…!!

ジーンジーンするのおツ!!
乳首おかしくなっちゃっッ!!

んあッ

あッ

あッ

あッ

あッ

あッ

きゅん
きゅん
きゅん
きゅん
きゅん



無防備な陰部に別の
スモールグールの舌が絡み
クリトリスを刺激します。

あああ〜ツ

そこは触らないでツ！
クリトリスは
敏感すぎるツ！！

これ以上
いきたくないツツ！！

ゲル
ゲル
ゲル

あああツ

刺激が強いツ！！
強すぎるツ！！

ズ
ズ
ズ

あああツ

ハ
ハ
ハ

んんん
あらッ

今そこ責められたら私
本当にどうにかなっちゃうツ！！
絶対すぐイッちゃうツ！！

スモーグルグールの責めは止まず…
処女を失ったばかりの彼女はすくなく
絶頂まで追い上げらたわっへへ。



あふッ
はふう……ッ

またイツちやつた……
イカされちやつた……
モンスターに私……思いつきり
イカされちやつた……!!

あッ……

ああッ……

あッ……ああッ……

私の体どうしちやつたの……
どうなつちやつたの……
怖いよ……ッ





ひやっ
そ、そこはもう
入れないでえっ!!
いやっいやあ~~~~!!

同時は
いやっ

あ、あ、あ
あ、あ、あ

放心する暇もなく舌が蜜口に触れた。
エリミネーターに破瓜された衝撃を
思い出してピアンカの体が強張る。

あーっ

も、もう…

これ以上続いたら…ッ
すぐイッちやうッ!!

もおツ舐めないでッ
ダメッ来ちやうッ!!

おちよ

ぬちゅ

おちよ

おおお

ダメッ!!
間に合わな…ッ!!
ダメエエ…ッ!!

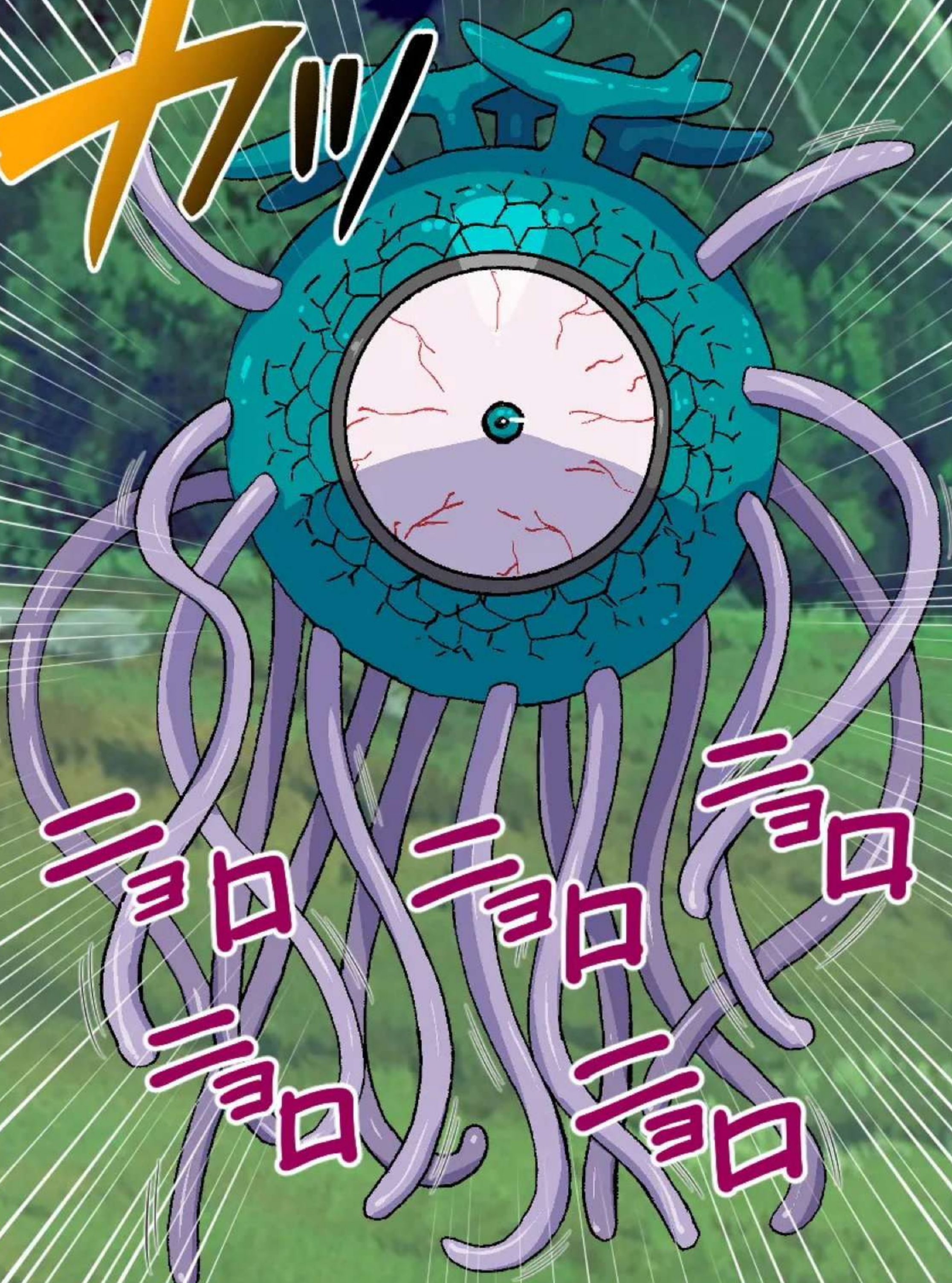
ヒッヒッ

ツッツッ

いやあ

絶頂から逃れる方法が分からない。
焦るピアンカを追い込むように
スモールグールの動きも早くなり…。

大川



ニヨロニヨロ

スモールグールと入れ替わったダークアイがヒアソカの
イッたばかりの陰部を巨大な瞳で凝視する。
またモンスターの慰み者になる未来を想像して懇願するが…。

も、もうヤダア…
私を解放してツ

み、見ないで…ツ

まだ…ビクビクが
収まってないんだから…ツ

どうして…

次から次へと…

私をこんな目に合わせるのツ！

はあ…

あ…ツ

ああ…触手が何本も…
うねうね動いてるッ！
あれで…大事な所を…ッ！！

またイカされる…また…
気持ちよくされちゃう…ッ

あ…あ…ッ

そ、そんな…

いや…

迫り来るダークアイの触手を見て
ビアンカのまんこの奥から
透明な蜜が滲み出た。

スル
スル

スル…

とろ…

陰唇を左右に剥いて蜜穴が丸見えになった。
ピロウクの初々しい粘膜とその奥の熟れた
赤い肉壁が曝け出されてしまう。

いやあーッ!!

あッッ

ぽあ
と

なに? め、捲ってる?!
恥ずかしい所が丸見えッ!!

広げないでッ!!

見ないでッ!!
見ちゃイヤアッ!!

自分の体内に入ってくる触手の感触に
全身が戦慄く。しかし触手はお構いなしに
ピアニカ力の膣内を蹂躞していく。

奥に来るうーっ!!

とんぱっ!!

あぁ

びん びん

びん びん

びん びん びん

びん びん びん

触手がーっ!

私の中で
動いてるーっ!!!

や、やだあッ!!

気持ちいい〜ッ!!

なんで?
なんでなのお?

んぐッ

あッあッ

絶頂を繰り返して濡れそぼった膣は
触手を簡単に飲み込み奥へと誘い込む。
初めての内側の快感にピアノ力は戸惑う。

エリミネーターの時は
痛いだけだったのに…
なんでこんなに感じちゃうの?!

ほっほっほっ

きゅん きゅん

んん

いやあぁ〜ツ
中をツ

中を擦らないでエツ!!

はぁツ

あぁツ

どっしりしようっ!
おまんこが気持ちよすぎんごっ~~~~ツツ!!
掻き回されるの気持ちいいよぉ~~~~!!



奥っ掻き

回さないでエエ~~~~ツツ!!

あぁあぁ〜ツ

あぁツ
あぁツ

ぽ
ぽ
ぽ

お尻に〜〜ツ!!

お尻なんておぞましいのに！
気持ち悪いのに！

き、気持ちいい〜ツ!?

ムムツ

おっツ

排泄する穴に外側から異物が侵入する。
初めての感触に全身が強張るが、それも一瞬で
すぐそこから沸き起こる快感に混乱する。

抜いてツ
抜いてえ〜!!

ぽんぽんぽん
ぽんぽんぽん
ぽんぽんぽん
ぽんぽんぽん

おっツ
おっツ
おっツ



クリトリス強いッ!!
そんなっ擦っちや
イヤアツ!!
あまあツ

おっ奥ツ激しいッ!!
ズボズボしないで〜ッ!!
おまんこ壊れちやうツ

はひいッ
お尻が
気持ちいいなんてツ
あり得ないッ!!

肛門と膣とクリトリスの
3か所同時責めは強烈で
ピアコ力はとんどん狂わせたんらへ。



おでいっ

ダメエ…ツ

気持ちよすおるんツ!!

おあッ

おあッ

おあッ

おあッ

ああッ

おあッ

おあッ

モンスターに犯されるの
気持ちいいーツ!!

おあッ

おあッ

凄いい〜ツ!!

気持ちいいのが止まらないツ!!

おあッ

おあッ



もおツ!!

もうっつくつく!!

あ〜っあ〜っあ〜っ

あ〜っあ〜っあ〜っ

あ〜っあ〜っあ〜っ

いぐツ!!

イツぢやううう〜ツ!!

ひいあああ〜っ

快感に堕ちた途端、ピアンカ力の感度が上がり、衝撃が突き抜けて最大級の絶頂が襲う。

き、きもぢいぢい……ッ

またいつちやつたあ……ッ
すご、く……イチやつた……
まだいつてるかもお……

おあ……
お……ッ

あああ……
こんなの凄すぎる……ッ
はあ……さいじお♡

はひ……

お……ッ
お……ッ
あ……

あ……ッ

あ……もつとッ
気持ちいいのが欲しいよお……
もつと……私を虐めてえ……ッ

連続絶頂でピアンカの理性が壊れた。
数刻前まで処女だった乙女は
自分から快楽を求める雌へと変貌していた。

ゴアアコカの陰唇からは大量の液体が滴り落ちてくる。…ゴアアコには恐怖も羞恥もなくあるのは犯されるゴアアコへの期待だった。

ああ…これから後ろから責められるんだ…♡

期待でおまんこから恥ずかしい汁が垂れてるのが分かつちやう…

はま…あま…

はあ…

あま…ツ

ふあ…

あま…

んあ…

しっ…

じま

ふる



おどろるほうせきが操る球体が連なった
アイテムを肛門に宛がわれ、初めて見る
物に驚きつつ肛襞が期待します。

ひゃあッ
そ、それは…ッ
そんな大きい物を
お尻に…?!

大きいけど…でも…
それで私のお尻の穴を
また弄って欲しいッ!

お尻があんなに気持ちいいなんて
知らなかったから…♡



あひいっ

お尻の穴にツッ!

硬くてポコポコしたのが
入っていくぅ〜ツ!!

あひいっ

あひいっ

あひいっ

あひいっ

あひいっ

太い〜ツ!!
さっきの触手より太くて
硬いのがお尻の中を擦っていくツ!!

ああツ!!

お尻の穴が広がっちゃうツ!!

あひいっ

あひいっ

あひいっ

あひいっ

あひいっ

あひいっ

あひいっ

あひいっ

あひいっ

あひいっ



ピアンカ力の肛穴に消たり戻ったりする球。
散々触手に蹂躪された穴は大きな
異物を難なく飲み込み悦んだ。

おざ
おざ

出っ張ってる所が
気持ちいい所を
擦つてくの堪らないツ!!

はひッ

おざ
おざ

ひあんッ

ズボズボされるのいいツ!!
もつと穴を出し入れしてツ!!

おざ
おざ
おざ
おざ

お尻の中が全部
引き出されちゃうみたいツ!!
それがイイツ!!

おざ

モニスターが離れるとピアコンカの穴は切なく疼いて更なる異物挿入を求めた。雄を誘うように尻を揺らしして請うた。

おまんこ…お尻もツ切ないのぉ!!

おまんこ切ない…ツ
ずつと放つておかれたから
疼いて我慢出来ないツ

あ…ツ

お尻ももつと
気持ち良くなりたいツ

お願い…ツ
誰でもいいから
私を犯してツ♥
早く…ツ

はあ…
はあ…





ギ
ン
ギ
ン
ギ
ン

ギ
ン
ギ
ン

あッ……あああ……
おちんちん……ッ♡

凄
い……ッ
なん
て
遅
し
い
お
ち
ん
ち
ん
♡

…すごい！
大きいツ♥

はあ…
はあ…
はあ…

はふッ

なんて長いのツ！
ああ…アシでおまんこ突かれないツ！！
絶対気持ちいいツ！！

はやく…おまんこに入れて♥
私のおまんこズボズボしてーツ♥

質量と長さを誇る男根にピアコンカの体が期待に震えた。散々弄ばれて蕩けた体には眼前の凶器はもうご褒美にしか映らない。

早くう♥

ゴキ

ゴキ
ゴキ
ゴキ





念願のラムポーこの男根がピアンカの
膣にふち込まれると、最初から容赦ない
腰使いで狭い膣を蹂躪していく。

おんっ

おんっ

おんっ

おんっ

おぐ漙いっらっ
お腹が響くっらっ

もおしおちさにしおちさにし
おちさにしおちさにし

肉壁を擦りあげエグい音を立てて最奥を突きまくる。人間相手では味わえない強烈な衝撃と快楽でピアンカが壊れていく…。

ゴッ

ゴッ

おんっ

おんっ

おんっ

おんっ

おんっ

おんっ

おんっ

おおおおお〜

オオオオ
オオオオ

せーえきがあーっ♡
おまんこにせーえきがあーっ♡♡♡



肉棒がズルリと引き抜かれると
膣内に注がれた白濁の液が
淫猥な音と共に大量に溢れ出て来た。

精液が零れちゃって♡

いっぱい…♡

こんなにいっぱい…♡

抜いちやイヤア…ツ

ズルリ
ズルリ

あ…あツ

きゅん

きゅん

ズルリ

ハッハッ

ハッハッ

ハッハッ

ハッハッ

きゅん
ズルリ

きゅん

んっ

ハッハッ

ズルリ

太いの素敵イイツ!!

おまんこゴロンゴロン
擦られるのじゅわじゅわ!!!

おまんこ

あはあッ

じゅわんじゅわん

じゅわん

ゴロンゴロン

ゴロンゴロン

あはあッ
あはあッ
あはあッ
あはあッ

あはあッ

あはあッ

あはあッ

あはあッ
あはあッ

あはあッ
あはあッ

もっもっもっ!!!
もっもっもっ!!!
もっもっもっ!!!

あはあッ
あはあッ
あはあッ

あはあッ



セックス気持ちいいい……ッ
モンスターに
犯されるのさらいっお……ッ

あぁあ……ッ

あふッ

あひッ

フスッ

フスッ
ヨムッ

あひッ

あひッ

あひッ
あひッ

あひッ

あひッ

あひッ

あひッ

あひッ

あひッ

あひッ

あひッ

あひッ

あひッ

あひッ

もぉ……何も考えられな……

気持ちいい……
気持ちいい……ッ

気持ちいいいッ
もっとおお……!!

そこには人間・ピラニカではなく
モンスターの慰み者に
なり果てた雌がいるだけだった。

わたし…ずっと…
わんわん…
わんわん…

モンスターたちが…
わらひの全部を
気持ちよくしてくねるから…

幸せなのお〜♡♡♡

あはっ
あはっ

あはっ
あはっ

あはっ
あはっ

ハッ
ハッ

あはっ
あはっ

あはっ
あはっ



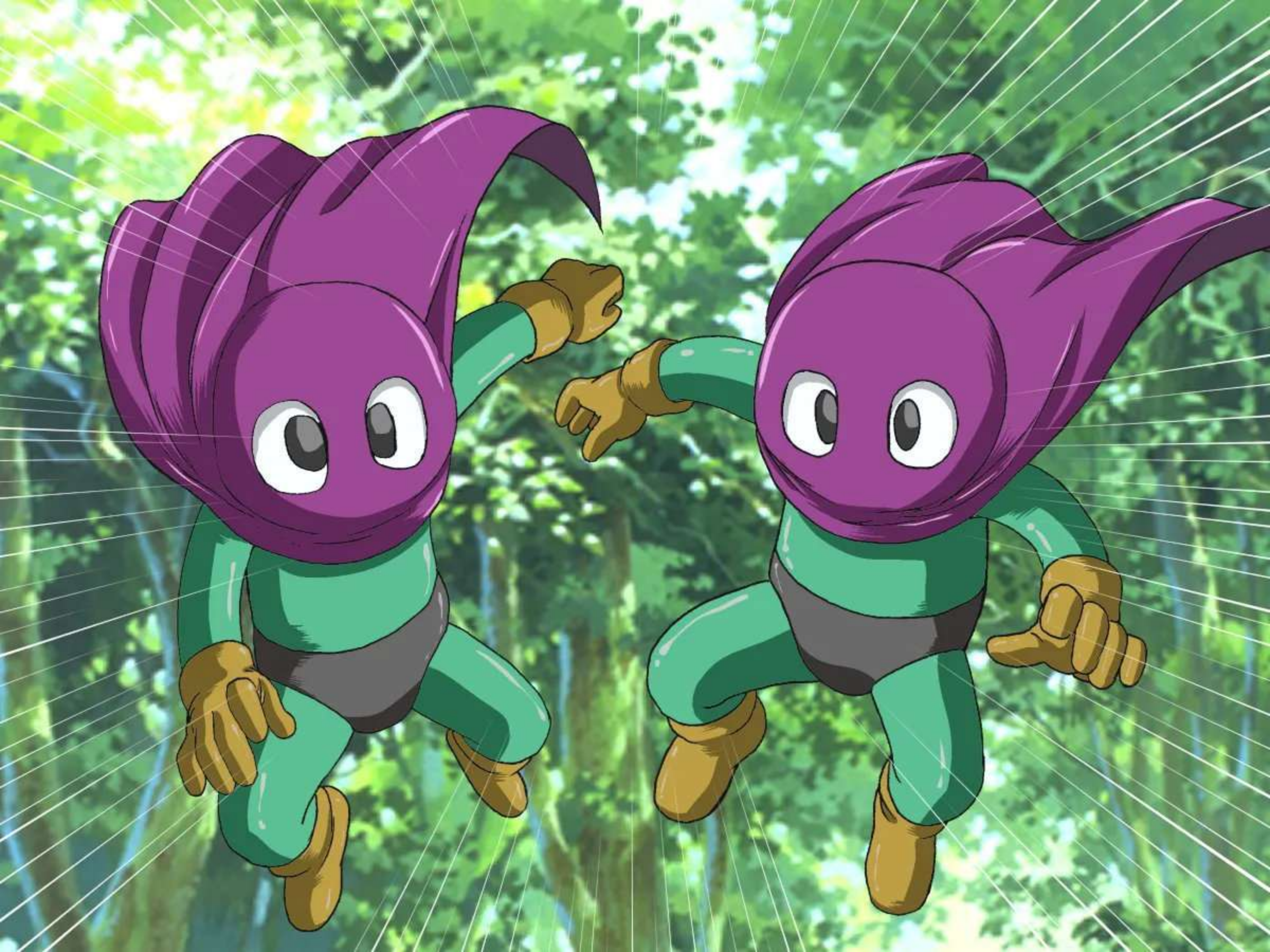
彼女たちが
絶頂地獄に
堕ちた話。

～ピアンカ編～

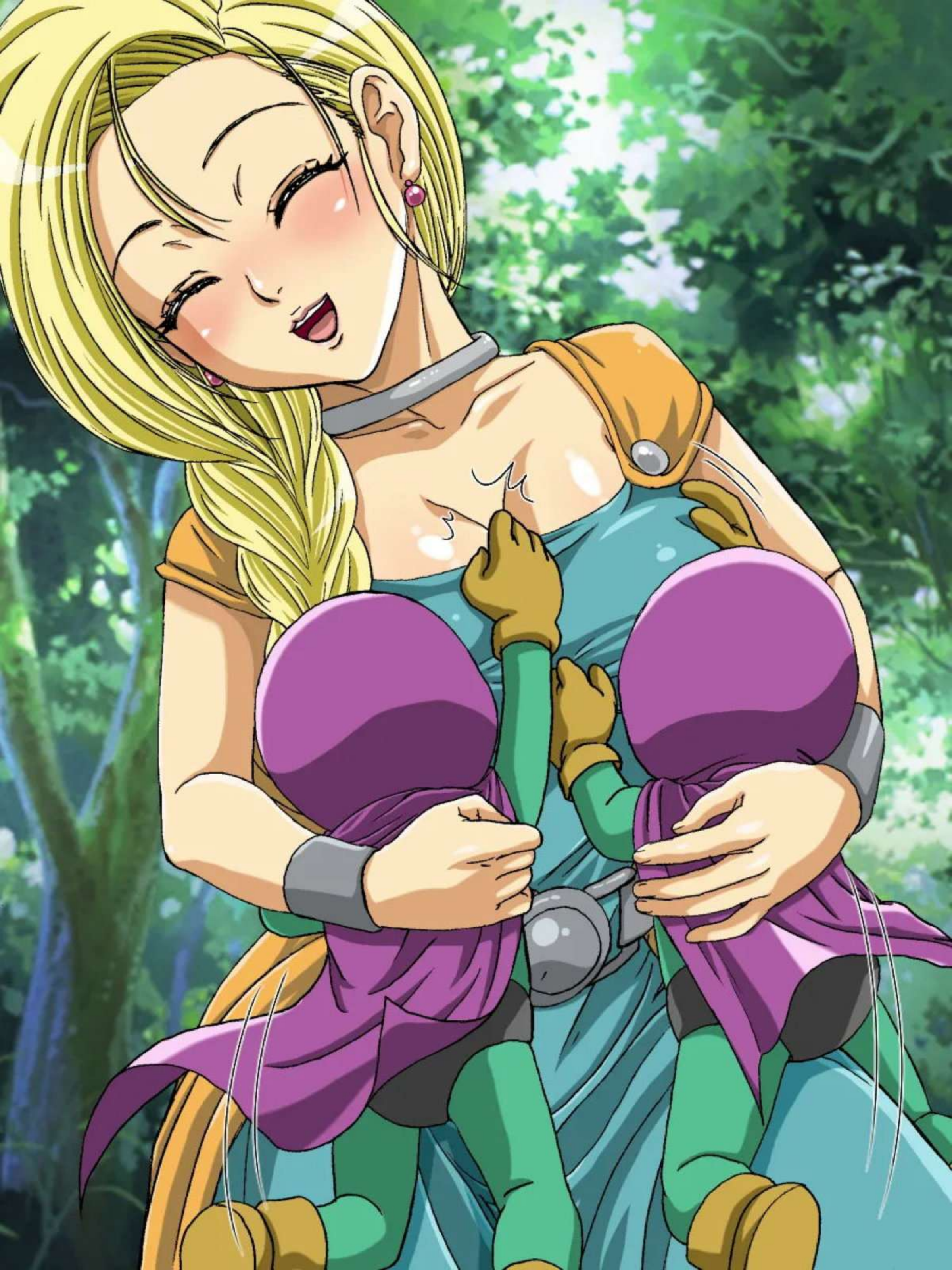
END













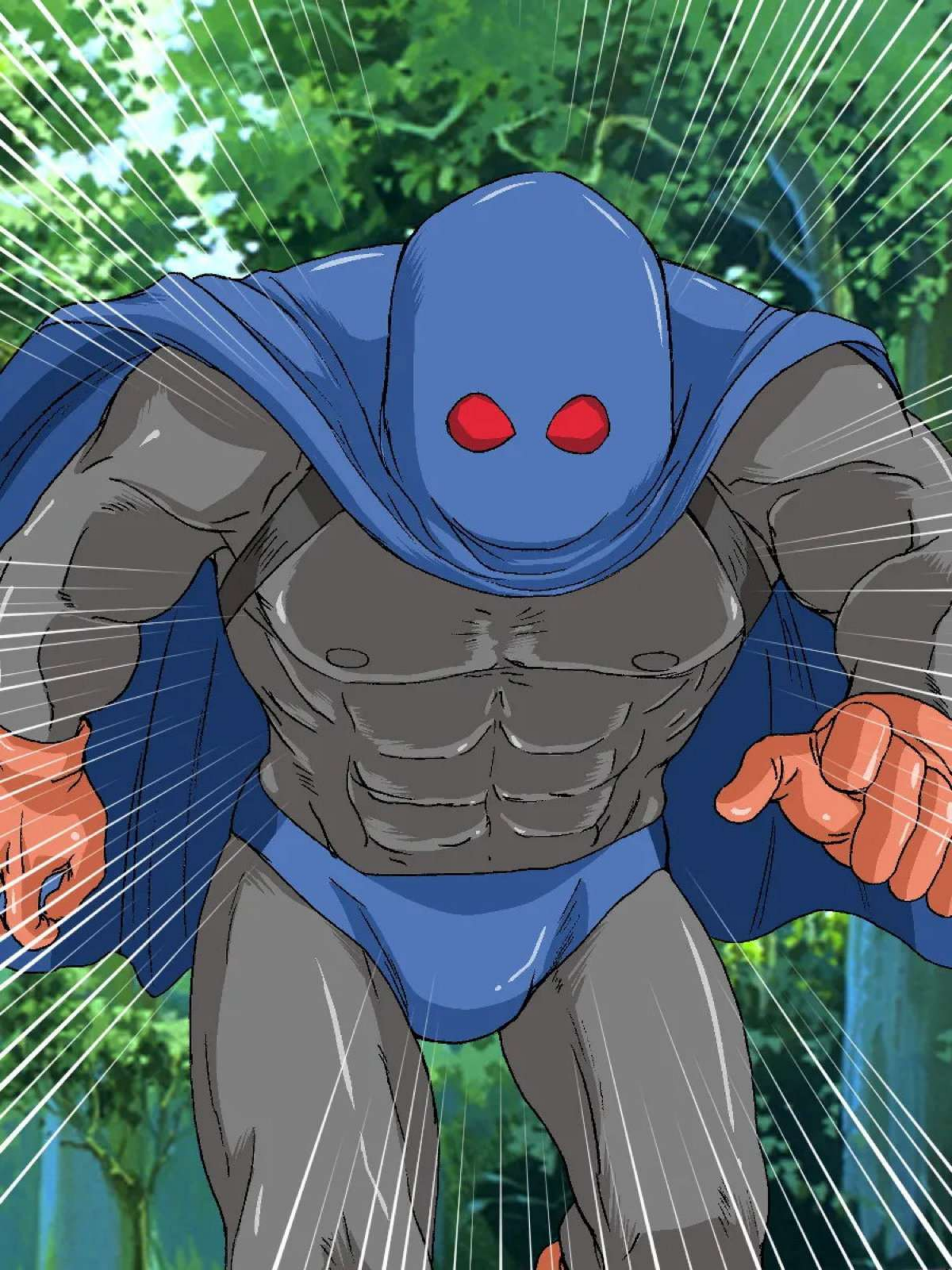


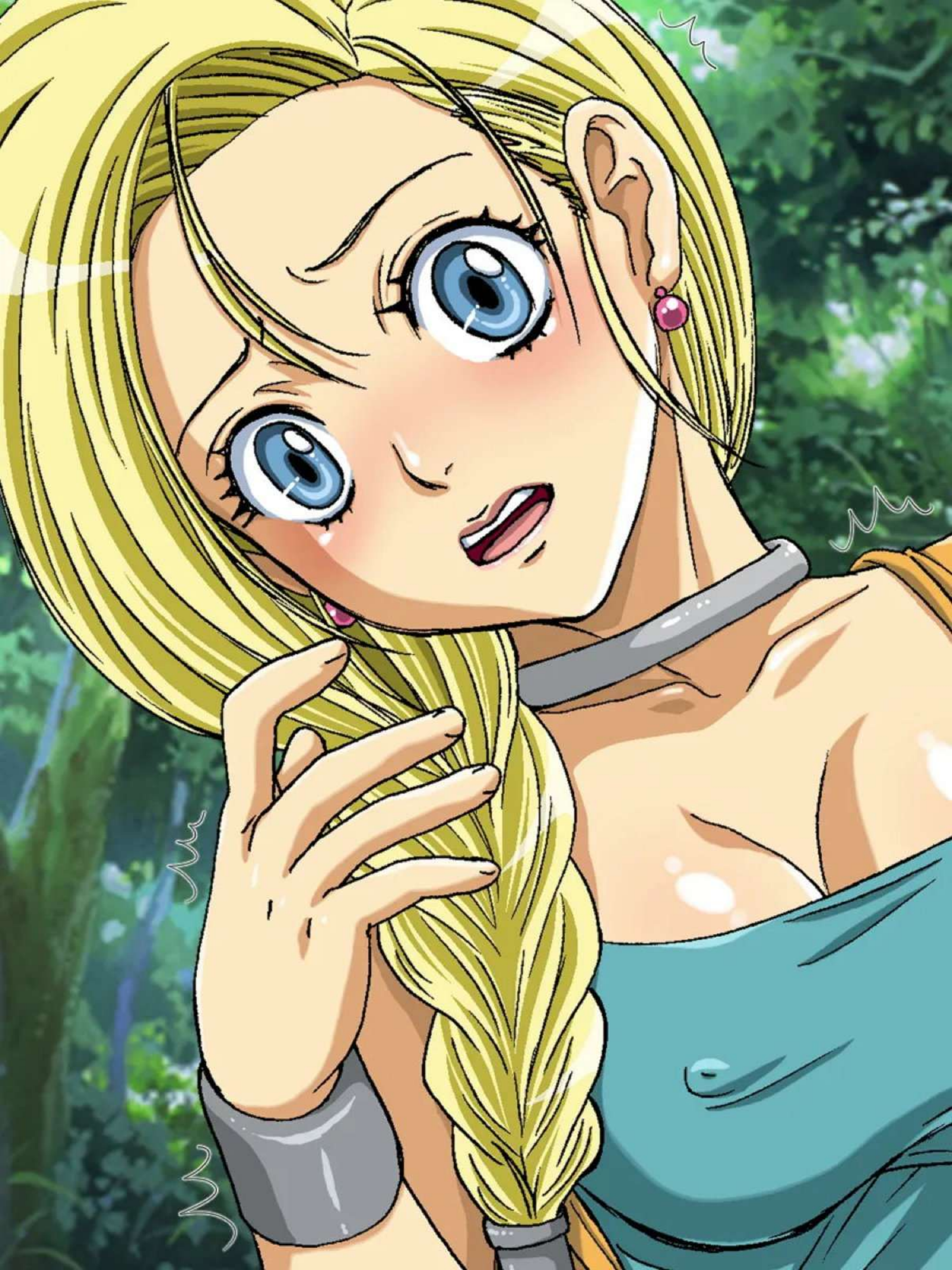




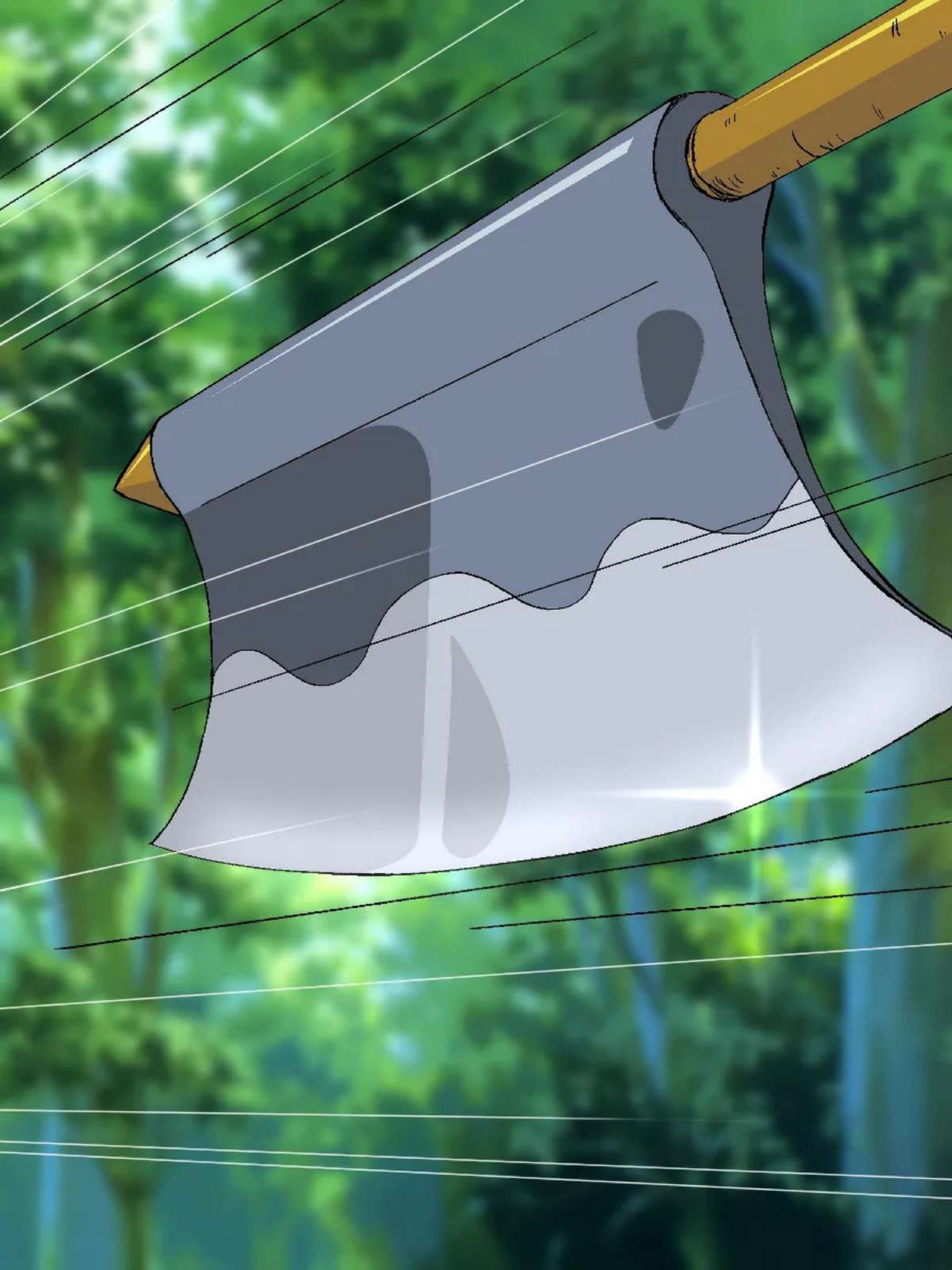




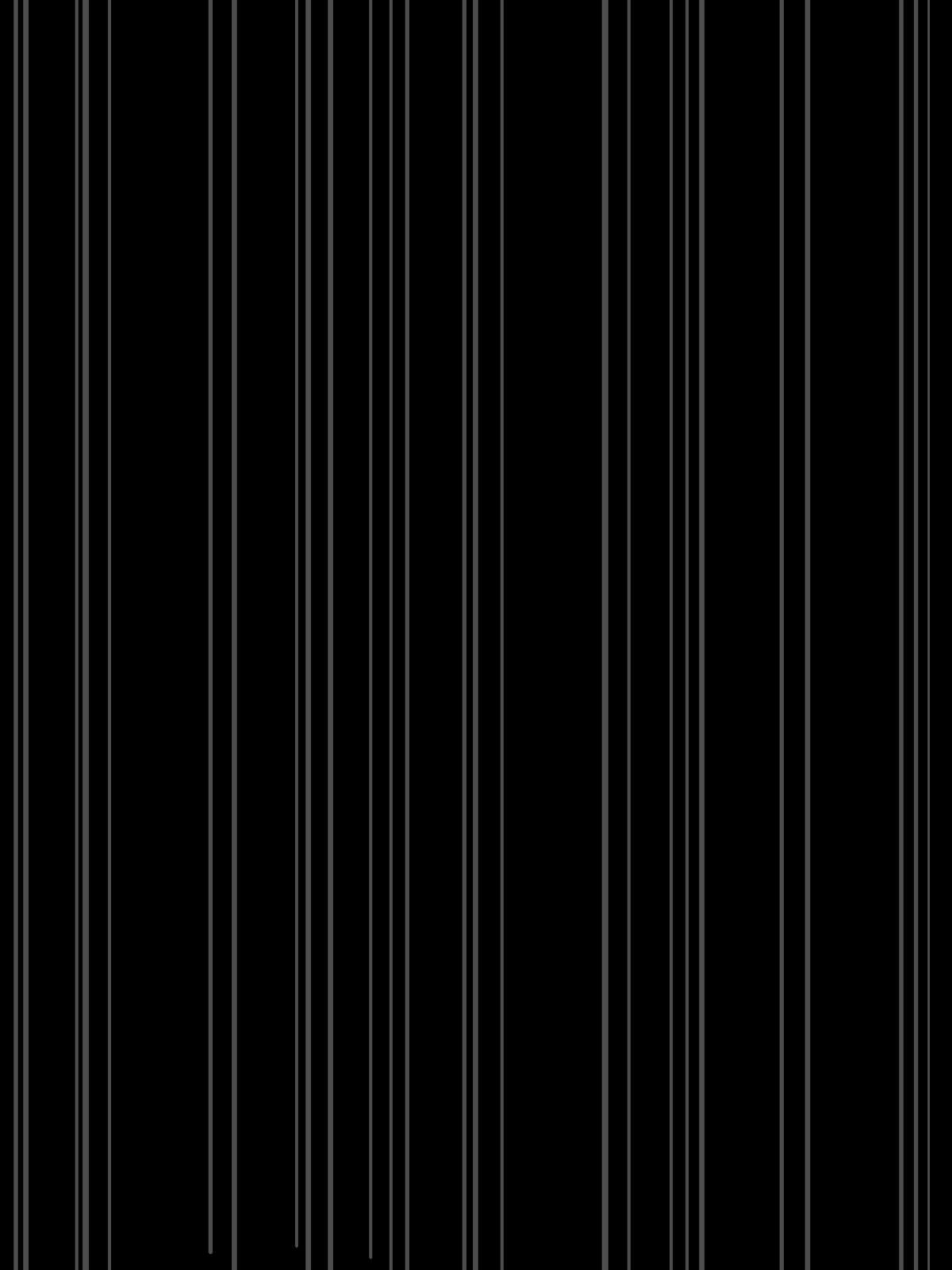
















































































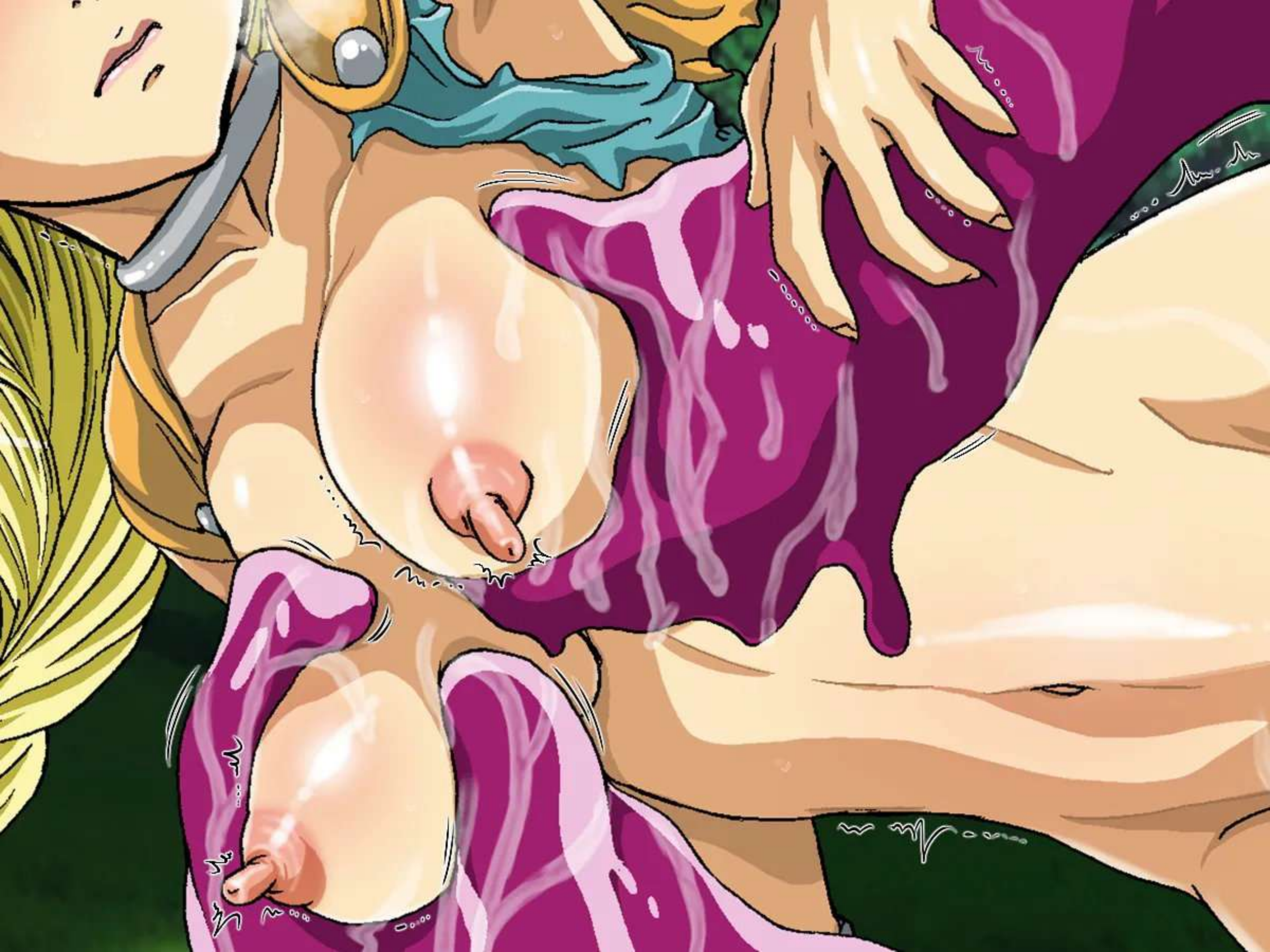






































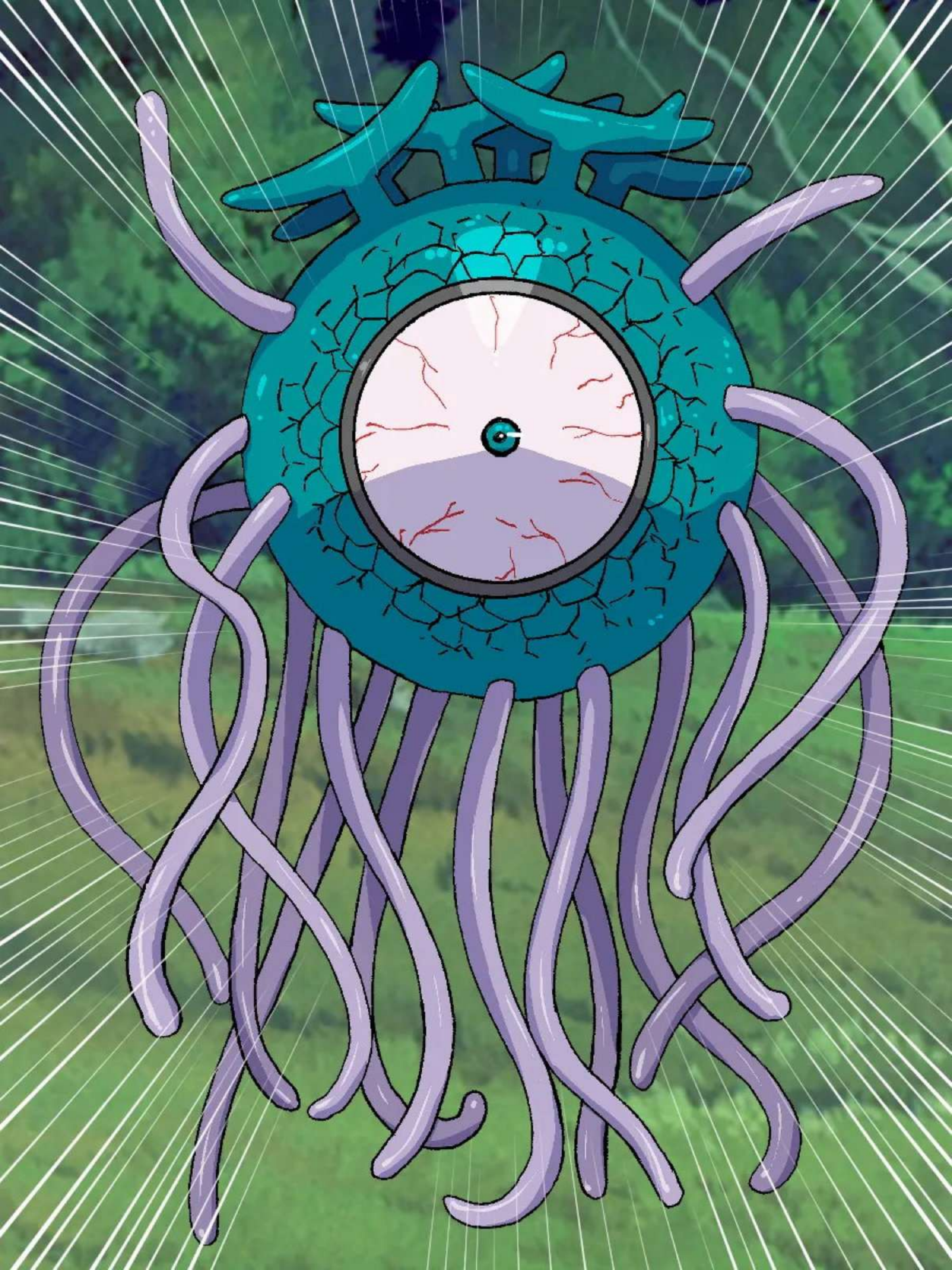
































































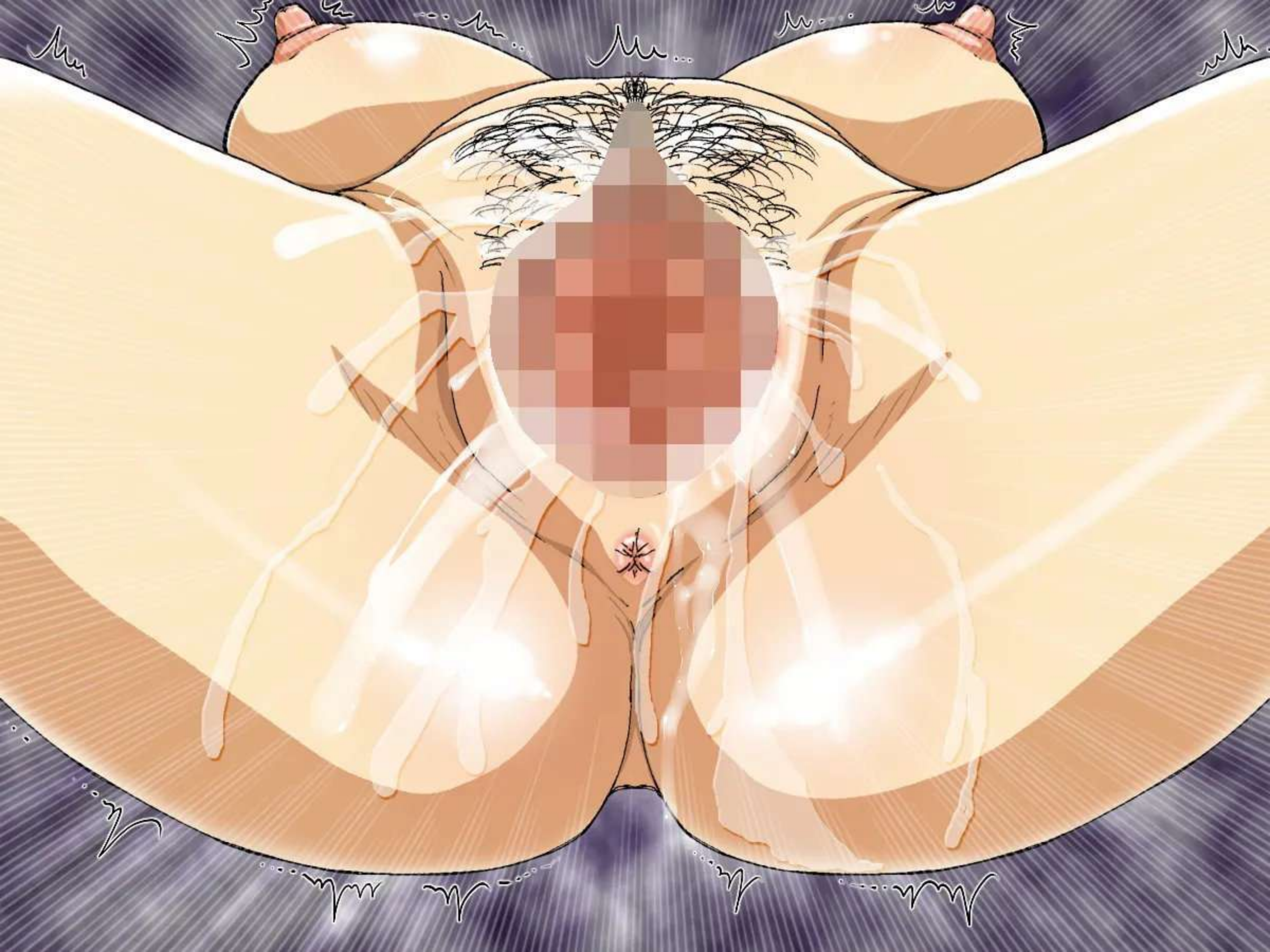














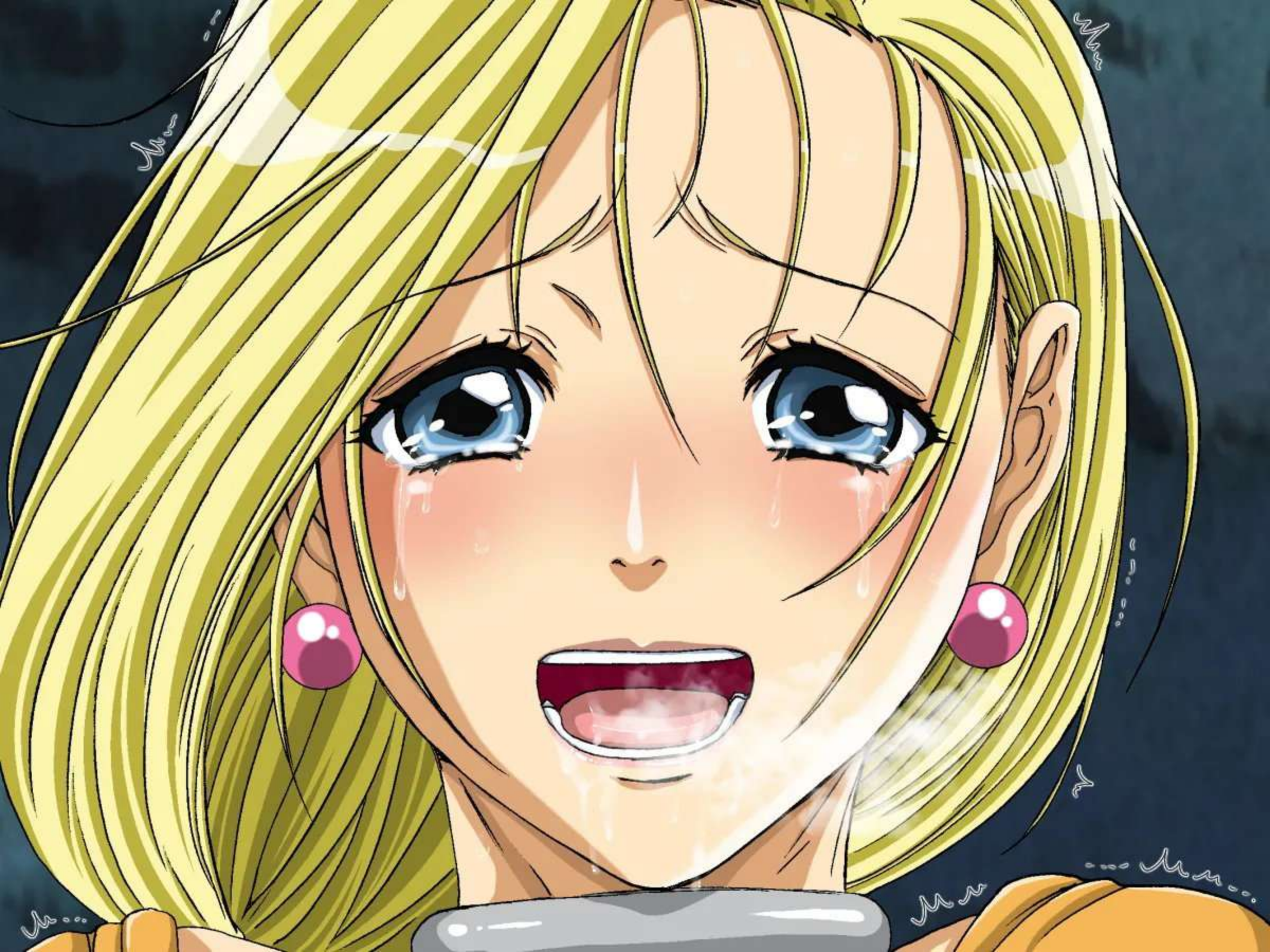












彼女たちが
絶頂地獄に
堕ちた話。

～ピアンカ編～

END